

おおくら 議会だより



医療従事者に感謝
(大蔵村診療所)



風水にふれる里
第 **124** 号
2020.初夏

もくじ

巻頭特集	2~8P
4・6月議会	9P
一般質問	10~11P
あれからどうなった?	12P

発行/
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集/議会広報調査特別委員会 年4回発行
発行責任者/議長 鈴木君徳
印刷/共栄印刷株式会社

新型コロナウイルスへの村独自の対策について アンケートのご協力ありがとうございました

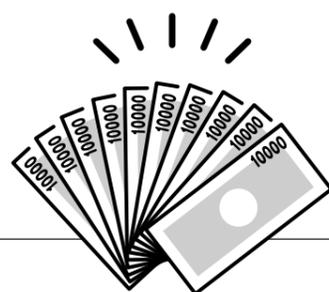
問6 特別給付金についてのご意見

良かったと思う意見

- 村独自の給付金頑張っていると思う。村民を思う村の対応が素晴らしい。
- 湯治に使い久々にゆっくりできた。
- 給付金は大変有難い事だが考え次第では無理に使っている人もいるのでは？
- 金額は別にして申請から給付までスピーディーで良かった。
- 申請から入金になるまでスピード感があって良かった。商品券ではなく現金だったところもうれしかった。
- 思いがけない寄付だったので大変助けられました。主に生活費として使いました。
- 給付金プラス1万円はありがたいです。
- プラス1万円は他の市町村より良かったと思う。
- 固定費ですぐ使い果たしました。今後さらに補助があれば助かります。
- 給付金は受け取りました。大変有難く思っています。生活費又はいざという時に使わせてもらいます。
- 今のところ貯蓄しましたが、コロナが収まらない以上何が起こるかかわからないので大変有難かった。
- 申請から給付までトラブルもなく大変良かった。
- 国からの10万円に加え村からの1万円がとてもありがたかったです。申請してから振り込みまでスピード感があって良かった。
- 大変ありがたいと思う。(ボーナスを貰ったようだ)
- いつまで続くかコロナ騒ぎで何もかも不安な中での特別給付金ありがとうの一言です。
- 経済が回る様に使うことにした。
- 助かった 他23件

その他の意見

- 寄付金の一律給付は自分としては違うと感じる。本当に困っている人や企業に対してすべきであってコロナ感染以前と現在の収入が変わらない人等には必要ない。税金の正しい使い方をすべきと思う。
- 収入源の少ない世帯に出すべきで、世帯人数が多く労働力がある世帯に出すのはおかしい。村、県、国から助成金などを生活力のある人ほど利用させている。弱きをくじき強きを助ける政策はやめるべき。
- 会社員の娘夫婦の夏のボーナスがコロナの影響で出ない。冬のボーナスも出ない可能性もあることから今は貯蓄し、出なかった場合に代わりとして使うことから…
- 村議員(村長)給付金は全員受け取ったのか?他県で寄付もしくは受け取り拒否した話も聞かすが、村内ではだれかいるのか?
- 突然ふってわいたように世界中に広がったコロナ禍にはどうすることも出来ず、ただ行政の指示に従うのみ。一日も早くコロナ禍から解放されるのを待っています。
- 村としてもう少し上乘せしても良かったのでは。
- 自分ではしなかったが難しそうだった。
- ネットからの申請は前提のマイナンバーカードを持っていなかったため、TVで言っているより難しいと思った。
- 少なかった 他3件



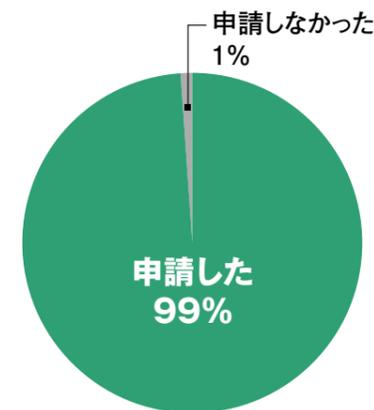
国民のために、国・県では、新型コロナによるいろいろな施策が行われております。村独自でも同じく行っていますが、無作為に150名を選び、また肘折観光関係者20名、併せて170名にお願いし、103名の方から回答を得ました。
ご協力いただきました皆様には感謝申し上げます。ご意見は原文の通り掲載しました。

1 特別給付金について

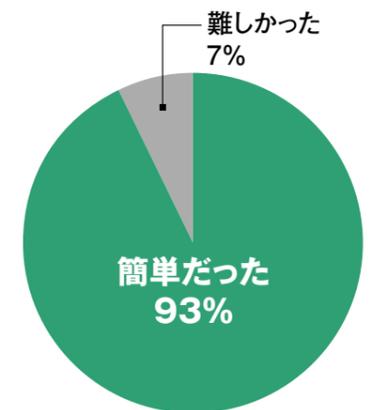
問1 特別給付金を知っていましたか？



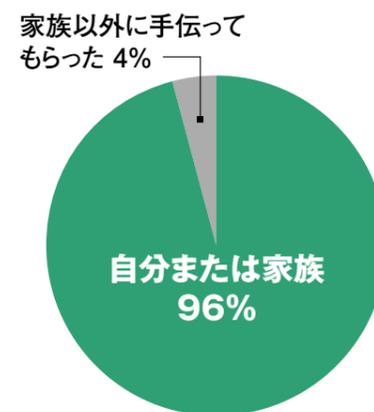
問2 給付金を申請しましたか？



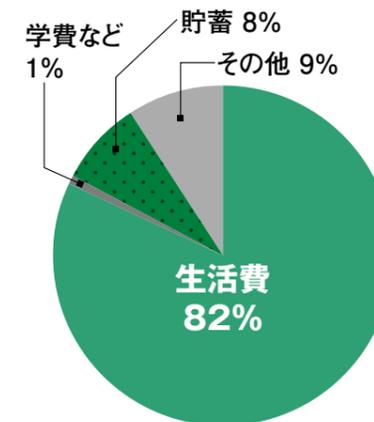
問3 給付金申請はいかがでしたか？



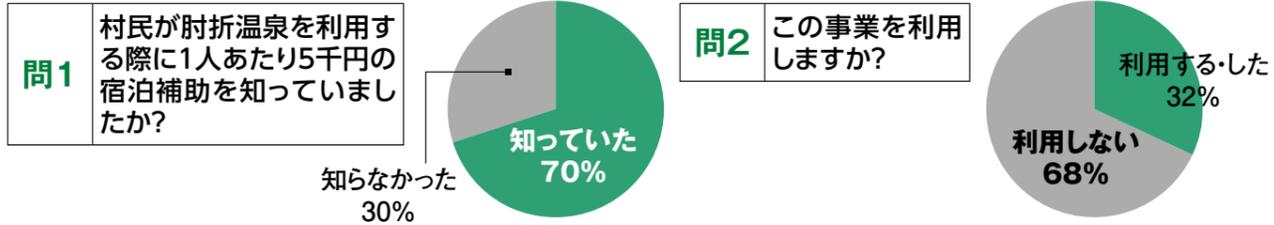
問4 申請書はどなたが書きましたか？



問5 給付金の使い道は？



4 肘折に行こう村民応援事業について



問3 肘折温泉利用の宿泊補助事業についてのご意見

良かったと思う意見	その他の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 肘折の方から電話をいただきこの制度を活用して温泉に泊まりに行った。少しでも村の為、肘折温泉のためと思い。しかしすべてが自分のためで癒されました。 ● 久しぶりに肘折に泊まれてサービスも良く楽しみました。 ● 6月末頃肘折温泉に有志での同級会時に利用させていただき大変助かりました。村としての応援事業としては素晴らしい計画だと思います。今後ともよろしくお願ひしたいと思います。 ● まだ完全に終息していないので少し怖い気ですが観光業を応援したい。 ● 肘折の旅館は大変苦しいので良かったと思う。予算の範囲以内できるだけ支援してほしい。 ● 若者及び働き盛り世代は、せっかく温泉に宿泊するのであれば肘折以外に行くのではないのでしょうか？しかし、年配者の方々には非常にお得な事業だと思います。 ● 肘折温泉旅館大変良かった。サービスも良い。 ● 2泊3日の時使用させて頂きました。 ● コロナウイルスで宿泊業など多くの業界に影響が及んでいる。できる限り支援応援したい。 ● なんとか利用したいと考えます。大蔵村が元気になればと思います。 ● 良かった・利用したい 他3件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅館なので受け入れはするが村民限定では見込みがないので広範囲に力を入れてほしい。 ● コロナウイルスが全国的にまだ終息していない中、観光地がある場所(首都圏内の人がいる)避けている人が多いようである。 ● クーポン券や商品券の方が使いやすい ● 県民泊まって応援キャンペーン事業を利用したので ● まだ完全に終息していないので少し怖い気ですが観光業を応援したい。 ● まだ予定が決まらない。● 地元での利用はなかなか使いにくい。 ● 自制中。まだまだ2波3波注意 ● 家族の仕事の関係で休みがとれない。ある程度の人数と触れ合うことでコロナ感染が気になります。宿泊補助金は肘折のホテル等には還元されると思いますが、コロナ感染対策に結構な費用は有すると思いますし、まだ時期が早いと思う。全国的な感染状況が第2波となりまた自粛に戻ることも考えられる。 ● 家から離れたくない。 ● 直接に住民、施設(旅館)に現金を配布する方法がより効果があったと思われます。 ● わからない。安くても望むサービスが受けられないみたい。 ● 現役をしりぞいた私は老後を託しておりますが、皆さんの日ごろのご奮闘を期待しますのでよろしくお願いします。 ● この時期ではなく冬期にしたら良かった。 ● 足腰が不安なので… ● 感染するのが心配です。 ● コロナが怖くて行けない。 ● 500名限定でしたが期限の7月末まで半数の250名には達しないのではないか。せっかくの取り組みなので、100%を超えるような工夫が無いのでは。例えば各旅館(20軒)のキャッチフレーズのような特徴をこの際この時期に“一言”入れれば効果大でしょう。 ● 村内に住んでいると、補助金が出たとしても一人で肘折に泊まりに行くこともないので村外の方がたくさん来られるような対策が良いのではないのでしょうか。 ● 余裕と時間がない

2 マスクの配布について

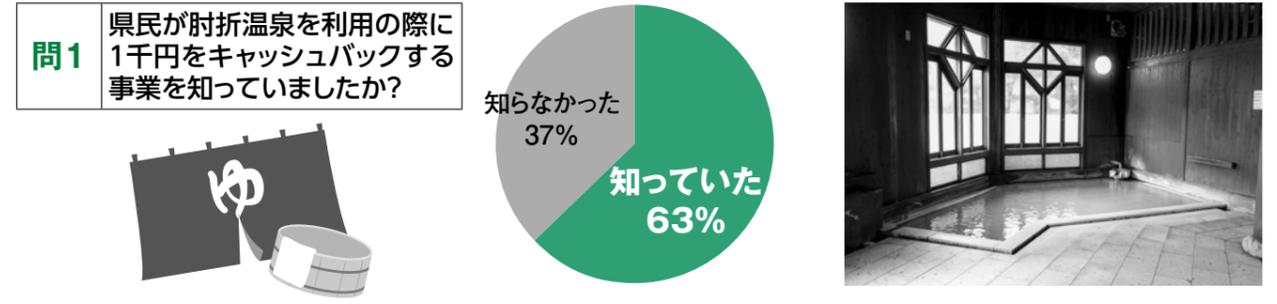


問3 貰っていかがでしたか？

良かったと思う意見	その他の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 不足してる中、素早く頂いたので感謝しています。すぐに行動してくれる村の素晴らしさすごいです。診療所の先生方には心強いメッセージをいただき、力強い思いです。皆様に感謝です。 ● 子供達用のはとても良かった。国より先に来て助かった。 ● 買えないときに届いて良かった。 ● 未使用です。手作りマスクを使用しているため、頂いたマスクは大切にしております。 ● 品薄の時だったので大変助かりました。洗いながら大事に使わせてもらいました。 ● 国のマスクより対応が早かったのが良かったと思う。 ● 店にもマスクが売っていなかったのが大事に使った。 ● 貰っていない65歳までの人にも1から2枚配ってほしい。 ● 高額な時期でしたので大変助かりました。 ● アベノマスクより早く届いたので村の対応が早急で良かった。 ● 2枚で大変助かりました。別の必要なところに使用してほしいと思います。 ● 良かった 他32件 	<ul style="list-style-type: none"> ● もう少し枚数が多く頂きたかった。 ● 出来ることだったらマスクばかりではなく消毒液も各家庭に配布していただければ大変有難い事ではないかと思ひます。 ● 大変助かりましたが、1人3枚でも良かったのでは。 ● マスク家族分欲しかった。2枚では足りない。 ● 買い置きがたくさんあったので、どちらでも。 ● サイズが合わなかった。 ● 買い置きがあり使用していない。10枚くらい欲しかった。 ● 気持ちはありがたかったですが、できれば、みんなにやれればと思ひました。 ● もともとマスクに関しては不足していなかった。 ● 枚数が少ない。



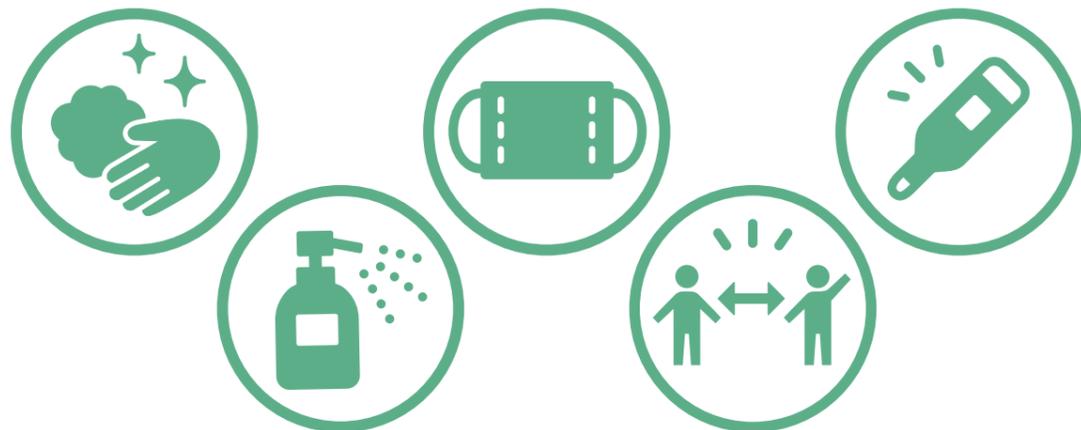
3 県民泊まって応援キャンペーン事業について



7 議会の対応はどうか・・・？

コロナ関係の意見

- 当局のプランのみでなく議員が団結して支援策を講じることが大切と思う。当局に対し議員の考えをプレゼンしてください。コロナに対応、支援するには議員の方々の知恵が必要です。
- 避難所などのコロナ対策をもっと徹底してほしい。
- せっかくアンケートを取っているのだから、その結果を整理して議会で介入できるものは計画的に積極的に取り組むべき。
- 執行部と連携を取り一日も早い終息を向けしっかりとした対策を取ってほしい。
- 大蔵村として給付金制度なかなか良いと思います。たとえ1万円でも大変助かる人もいます。私自身の大変有難く使わせていただきました。今後とも議員の方々が素晴らしい大蔵村になっていきますよう頑張ってください。
- コロナの予防に関しては、村で力を入れて広報等で行っているが、実際コロナが発生した所、罹患した方への対応は何か考えているのか。世界的な規模の被害に巻き込まれた方々への温かい対応をお願いしたい。
- 大蔵広報の防災無線でコロナ感染者が出た場合に「何人感染者が出ました」や「退院しました」などの情報を発信してほしいのではないかと。思う。
- もう一度給付金が欲しい。
- 議会としてのコロナに対するどのような対応したのか知りません。村の政策に生かされたものは何かどうだったのか、皆様個々の考えを伝えていただきたい。
- 経済が動かないと世の中当たり前前に生活できない。コロナと両立する事が大切だと思う。
- 農業問題に関して、国・県などは専業農家に手厚く助成金など出していますが、小規模農家にも同じように村独自でしてほしい。
- 新型コロナウイルスの件では早急の対応有難うございます。益々のご活躍をお祈りいたします。
- 長期間にわたり影響が残ると思います。限られた財政の中で大変とは思いますが村内の住民のために更なる支援を願います。
- マスクもう少し早く貰いたかった。
- 未曾有の被害に対し議会の皆さんにはいろいろな取り組みに感謝しています。まだまだ予断を許しませんこれからもよろしくお願いします。くれぐれもご自愛ください。
- 村議会議員はこの時期に返還はないのか。他の市町村は話も出ているが
- コロナで町内活動、地域活動の停滞で村民間の孤立化が心配される。
- 現金支給もいいですが村に残るように商品券でも良かったのではないかと。思った。
- 村独自の1万円の給付金は商品券でも良かったのではないかと。村内の商店や食堂、旅館を少しでも助けたいと思います。(現金だと新庄へ買い物に行かれてしまう。)
- 今回村の支援がお金だったので助かった。村の商品券だと欲しいものが売っていないので。
- サービス業ほどではないが、いずれ農工業にもコロナ不況が想定されます。状況をきめ細やかに把握して先手をもってご支援願いたい。
- 今後とも旅館・商店・日帰り温泉施設の支援をよろしくお願いします。



5 経営維持資金について（一時的に休業された皆さん）

問1 経営維持資金があることを知っていましたか？	問2 経営維持資金が村独自であることを知っていましたか？	問3 経営維持資金についてのご意見
知らなかった 9% 知っていた 91%	知っていた 100%	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請も国と比べて簡単で良かった。マイナンバー・法人ナンバーをあまり有効的に活用されていない(国)のが残念である。 ● もう少し多いと良かった。 ● まだまだ通常に戻るには時間がかかると思います。更なる支援を求めます。 ● 大変助かった。

6 今後の予定として

問1 あなたの業種を教えてください。	建設 3% 農業 30% 商業 17% その他 33% 会社員 16%
問2 各業種についてのご意見	

良かったと思う意見	その他の意見
<ul style="list-style-type: none"> ● 旅館組合で500万円の助成をしていただき良かった。組合では助成金の使い道にとまどいがある様に見える。大規模なイベントに使っても良いという指摘があると良いと思う。 ● 大変良いことと思います。 ● 地域が活性化すればみんなが幸せになります。スピード感をもってご支援を願います。 ● 支援には感謝しますが、旅館・商店にも更なる支援をお願いしたい。 ● 一回限りではなく今後もこのような支援事業を考えてほしい。 ● どの業種も支援があれば助かる。 ● 大変良い 他5件 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大蔵村の農業、トマト・稲、代表する農作物の販路がどうなるか心配です。支援策は何でも構わない、公共事業を減らしてでも農業を支援してください。道路がどこどこでも生活はできます。農業が一番を考えてください。 ● コロナ第2波に備えて、定額給付金を再び給付してほしい。 ● 結果はまだ先に出る事と思うが、農産物の販売減等についても今からその計画性を示すべき。 ● 農業経営者に対する支援が必要になります。幅広い支援を期待します。 ● 農業の出荷品目の値段の下落などについても検査していただき、もし下落するようなら支援の検討を。 ● コロナの被害を受けた業種の実態を把握し適切な支援をお願いしたい。実際コロナが発生した特養への支援は何かしたのか？今後支援の予定はあるのか？ ● これから支援してもらわないと困る。 ● 旅館・商業等に、もう少し手厚く支援をお願いしたい。 ● 農業の方も、もう少し早く支援してほしい。 ● 医療・介護関係の方々への応援。今後農作物の価格、低迷が予想されているので農家への応援。 ● 今後の生活が心配。収入面と余暇の時間が取れるか。 ● ある程度の専業農家などに助成金が県などから出ていますが、小規模農家にも支援してほしい。 ● 学校、介護現場、保育現場、医療現場など仕事に人間が絶対必要とする仕事ではギリギリの人数で働くことは大変なことと思います。人材の支援の方法も考えてほしい。 ● 各商店支援。 ● 外食産業は中国、台湾、韓国の旅行客が来ない分503トンも在庫があるという。秋は大変だ。 ● 数か月にわたって仕事を休んでおられる方をみております。中小企業の方々に足を運んでよく話を聞いてできる限り手厚い支援を考えてください。 ● 村の行政を信頼しておりますので厳しい業種から順にお願いいたします。 ● 情報収集が大切、精神的な豊かさで生活支援。 ● その他の業種ではないが、翠明荘への支援が必要。例えば上の「肘折に行こう」事業での予算の浮いた分を含めて、早急な支援を回すべき。 ● 農業の生産物が今後どの様な販売になるのかとても心配。 ● 会社員、農家も少しは支援していただきたい。 ● 旅館業なので色々助かりましたが、職種によって全く頂けない方がいるようで気の毒に思います。 ● 様々な楽しい行事が中止になって皆寂しい気持ちになっているので、感染予防に努めながら定期的に一発だけ花火を打ち上げて村民を励ます等どうでしょうか。清水地区と肘折地区と交互にしてみんな集まらず家で見えるようにして…。

その他の意見

- 議会の中で、各業種の詳しい情報を得るシステムを作ってはどうか。
- 山好きな人として・葉山登山道まで(肘折口)刈払いを止めてしまった理由は?大蔵村沼の台にある女沼がヨシの大量発生で、貴重な植物(トキソウ、サギソウ、ハッコウトシボ、ギンヤンマ)その他多くの植物が絶滅の危機にさらされている。一度役場職員、文化財保護委員に来てもらったが、さっぱり関心がなかった。あと、村の花、鳥、動物などが現在に当てはまらないものが出てきた。
- 大蔵村に資料館があれば人の賑わいがあると思う。
- トンネルの照明明るくなって有難うございました。湯の台の直線道路に冬場の対策として防雪柵をつけてほしい。
- 村の内容を細かくわかるよう教えてください。
- 防災無線の回数が多いと思う。時間も長いし何度も何度も同じ内容の繰り返しは必要ない。月に2、3回は全戸チラシも配布になっているし、小さな子供さんは寝ている場合起きてしまう。もう少し回数を少なくしても良いと思う。
- 村民のため、どうぞ頑張ってください。
- 高齢者ばかりの世帯、一人暮らしの世帯が増え、外出する手段が難しい。住民の実態を知り、人口の流出もなかなか止められない現状ですが、これからどんな取り組みをするのか…何らかの形でお知らせいただければと思います。
- 高齢者に対する共同施設などがあればよいと思う。
- 山形県議会で行っているインターネット中継を大蔵村議会でも行ってみたいはどうでしょうか?日中傍聴に行けない会社員や若者世代も議会に関心を持ってもらえるのではないのでしょうか…
- 取り組みは議会広報で見えています。要望はありません。今後も頑張ってください。
- 取り組みが見えていないので、住民がわかる行動を望む。
- 議員選挙の時期考えてほしい。
- 午前中の傍聴を早めて一人でも多くの質問と答弁を聞きたいです。
- 時折議会傍聴に行くことがありますが、出席者数人です。いかに議会に無関心なんだろうと思えます。現役を退いたといっても、自分たちの子供達孫達のことを考えれば無関心ではおれないと痛感しております。各議員の方々も選挙の時だけでなく、地域の支援者に傍聴に足を運んでもらえるような働きかけを考えてみてはいかがかな。
- 白須賀地内の村道認定していただき又すぐに舗装工事をしていただき感謝いたします
- 議員の皆さんは地元愛が強く、議会の話題が地元のことが多くでている。村内全体を見た方がよいと思う。
- 議会に出席したことはありませんが、村民のためよろしく願います。給付金1万円も大変有難かった。
- 「議会だより」はもっと早く届くと良いのではと思っています。今議会で取り上げられていることは今知りたい。(たとえば定例議会のあった月)あまり遅いと実感がない。新鮮なうちに届けてもらえることでもっと議会が見えるものになるのでは?
- 給付金のアンケートで議会の取り組みに反映する意図がわからない。村議会(村長)の報酬の減額は考えていないのか?
- 具体的な要望や意図の把握と徹底した調査研究をおこない、行政施策に反映できる議会を期待しています。議会広報の速報性に欠けるところがある。
- 議会の取り組みのその具体性が出ていません。アンケートを取るのであれば、その具体性案を出しての反応とします。
- 村民の安心安全のためによろしく願います。
- 議員ももう少し何かできないものか。

結果は今後の議会運営に反映させていただきます。
ご意見がございましたら議会事務局(内線322)までお寄せ下さい。
次号より検証してまいります。



コロナ禍 波乱の年を乗り切れ

4・6月
議会

4月臨時議会

新型コロナウイルス感染症が村を巻き込む事態となつた4月。27日に臨時議会を開き、感染防止対策のための消毒用品や非接触温度計、村民向けの配布マスクの手配等、また、国の緊急支援事業に対応した子育て世帯への臨時特別給付金の支給。村単独での全村民への緊急支援金や観光関係事業者への支援等について、専決処分を含む2議案を審議し可決しました。

6月定例会

6月定例会が4日から5日にかけて行われ、元年度補正予算、2年度補正予算の他、条例・規約等の改正、人事案件等の審議を行いました。近年稀な少雪による除雪費の大幅な減額やコロナ禍による行事中止等の元年度予算補正。国の定額給付金の支給の他、農業・観光事業支援、小中学校のネットワーク整備事業等の2年度予算について議論が交わられました。
先立って行われた一般質問では、2名の議員が新型コロナウイルス対策に関連した質問を行いました。

【議案審議】

専決処分の承認

- ◎大蔵村税条例の一部改正 (国の法改正に伴うもの)
- ◎大蔵村国民健康保険条例の一部改正 (国の法改正に伴うもの)
- ◎令和元年度補正予算8件 (主に各事業の清算に伴うもの)
- ◎令和2年度一般会計補正予算 (国の特別定額給付金支給のため)
- ◎令和2年度一般会計補正予算 (県の宿泊補助事業への上乗せ支援)

条例の改正

- 大蔵村慶祝金支給条例の一部改正 (敬老者に対する祝品を祝金に改めるもの)
- 大蔵村税条例・国民健康保険条例の一部改正 (新型コロナウイルスに対応する国の法改正に伴うもの)
- 大蔵村簡易水道・公共下水道条例の一部改正 (工事事業者指定の手数料を新たに徴収するもの)

人事案件

◆農業委員会委員の任命

- 齊藤 徳美 (合海)
- 佐藤 勝一 (滝の沢)
- 八条 信一 (赤松)
- 三條 清美 (白須賀)
- 佐藤 昌子 (清水)
- 鈴木 利夫 (藤田沢)
- 国分 明 (上竹野)

◆字の区域の変更

◆県宮赤松・通り地区基盤整備事業に伴い、字の区域を一部変更するもの
▼消防団耐火訓練服の更新を図るもの

補正予算

◎令和2年度一般会計補正予算他3件 (農業・観光事業支援、小中学校のネットワーク整備事業等)

一般質問

- 議案審議に先立ち2名の議員が一般質問を行いました。
- ★八鍬信一 議員 「小中学生の学力低下対策」……P10
- ★佐藤雅之 議員 「コロナ禍の中で複合災害発生時の備えは急務」……P11



八鍬 信一 議員

小学生の学力低下対策 教育課程の見直しと授業の質的転換

問 全国において、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、「学校がいつ再開するのか、またいつ休校になるのか」先の見えない状況が続いている。

村においても5月11日より再開したものの、小中学校ともに分散登校・時差登校を実施。

さらには、2〜3時間の短縮授業等が実施され、当初、6月5日までの予定でしたが、現在は6月1日より時差登校を継続しつつ、

この件については、保護者のみならず、村民皆さんが大変心配している。これらを解消するのに、各市町村教育委員会でも色々検討しているが、当委員会ではどのような対策を

講じるのかを伺う。

答 教育長

感染予防対策としては、約2か月間の小中学校臨時休校。5月11日に始業式、12日に入学式を両校とも終えた。

その後、分散登校・時差登校し段階的に学校再開を進め、6月1日より給食を含めた平日課に戻すことができた。

教育委員会としては、3

月の全国一斉休業より、国県の指導を受け、小中学校長会・対策会議を開催し、適切な学校運営・遅滞なき学習計画について検討を重ね、学校再開に向けて準備を進めてきた。

「学力低下・学力格差」の対策としては、大きく3点にまとめた。

第1「年間授業時数確保のため教育課程の見直し」

- ①各種行事の縮小・中止
- ②夏季・年末年始休校短縮
- ③1日5時間授業を6時間

に延長

これらにより、国の定める年間標準授業時数の確保

第2「小中連携による授業の質的転換」

- ①探究型学習に向けた、教科横断的学習指導
- ②習熟と活用のバランスの取れた授業構成

第3「村営学習塾・未来塾の見直し」

- ①一斉授業から個別授業へ移行
- ②算数・数学、英語の2教科を算数・数学のみに焦点化

以上の方針で進め、学習意欲の低下・格差のないよう取り組んでいきたい。

◆休校に対する子供たちの異変（全国統計）

- 1.朝なかなか起きない
- 2.元気がなく食欲もない
- 3.頭痛・腹痛を訴える
- 4.感染症に過敏反応を示す
- 3.家庭・学校での会話が少ない

再休校も
在りうるために
注意したい

◆家庭・学校においていち早く察知し対応



佐藤 雅之 議員

コロナ禍の中で、複合災害発生時の備えは急務 村長 避難所利用の手順を再確認し、安心安全を準備したい

問 コロナウイルスの脅威は、人類が経験したことのない未知のもので、今も進行している。他方、大蔵村も含め近年毎年のように台風等の風水害があり、全国で規模の大きな地震も多発している。

自然災害に感染症が加わり、避難方法や避難場所、備蓄品内容など、見直しが早急に迫られている。

① 避難所などでのいわゆる「三密」回避対策

② 役場職員らの「オンライン会議」（遠隔会議）の整備

③ マスク、消毒液、ついでに、テント、簡易トイレなどの備蓄体制の強化

④ 感染予防を踏まえた住民らへの避難時の啓発活動、この四点について村の考えを伺う。

答

①避難所がどんな大きな施設でも施設内の空間は共有する。屋内テントや段ボールついで

の活用も必要。村の避難所にはそれらの配備がない。高額な商品でもあり、今後想定される被災規模と考え合わせ施設に見合った数量を配備したい。ウイルス対策としては、避難所受付段階で問診や検温、消毒を強化し、感染リスク者の判断を行う。災害の規模によつては、家庭内での垂直避難についても検討する。

検討する。

③ コロナ発生後、村備蓄用マスクも含めて一部対象者に配布した。備蓄品がよりよく活用された例。備蓄マスクの使用後、即座に約4,000枚のマスクを備蓄した。

そのほか、消毒用アルコールや非接触型体温計など必要最小限の物品は備蓄した。停電、断水等で避難所にあるトイレの利用ができなくなる可能性がある。屋内テントや段ボールついでと同様に、災害の規模を考慮しながら簡易トイレも備蓄したい。

④ 診療所医師監修で大蔵村版、新型コロナウイルスの説明書を全世帯に配布した。コロナ禍の中、避難の際不明な点があると思うが、村ではコロナ禍の中での避難所利用の手順をもう一度確認し、安心安全に施設を

利用できるように準備したい。

※垂直避難とは安全を確保するために2階など上下垂直方向に避難すること



あれから、どうなった?

検証・提言

新型コロナによる自粛生活の不便さを身をもって感じた日々でしたが、慢性的に感じているのが高齢者の方々ではないでしょうか。今回は高齢者問題です。

1 買い物

身近なお店が閉店し、
買い物が出来ない。
移動販売は。

村主導ではなく民間力を
静観。



2 サロン

村民が集えるサロンの
設置。

各地区にてふれあいサロン活動を
行っている。



3 交通

デマンドタクシーや
有償ボランティアによる
移動手段は。

既存バスの利便性の良い運行。
デマンドタクシーの必要性は
理解している。



4 高齢者向け住宅建設

必要性は考えているが、
今後検討する。



後書き

子どもの頃、先生からある話を聞いた。水道のないアフリカの国に日本が電動式の井戸水ポンプ機を送ったが喜ばれず、放置された。次に手動式のポンプ機を送ったら大変歓迎されたとのこと。現地にはそもそも電気が通っていなかったのだと言う。

昨今の情勢の下、テレワークやリモート学習などが推奨され、行政の給付金もオンライン申請が叫ばれている。「確かに便利だ。使いこなせば。」しかし、実際は、多くのミスや「意外な手間」が逆に増えて結果、利用者には「二度手間」となっている。

利用者ばかりが苦労しているのではない。電子情報を受け取った行政側も紙に印刷しなおして改めてチェックするケースも多い。

この「混乱」は、時代の節目としての「産みの苦しみ」なのか、AIに簡単に代替されたくはないという人間性のひそかな「抵抗」の現れなのか。

19世紀に起きた機械打ち壊し運動(ラッドライト運動)では、機械が人間の雇用を奪うと考え、労働者は機械を片っ端から壊した。

「コロナ禍、「新しい生活様式」のなかで、ITやAIを打ち壊す(拒絶する)ことはもはや喜劇にも見える。

全てが計算によって予測される社会で「自由に人間らしく生きる」ことの意味が何かを、全ての人が突き付けられていると感じる日々である。(佐藤雅之)



議会広報調査 特別委員会

委員長 早坂 民奈
副委員長 佐藤 雅之
委員 矢口 雅之
委員 斉藤 光雄